

1. 科目名 (単位数)	日本語教育実習 I (2単位)	3. 科目番号	EJJP4361
2. 授業担当教員	山口 雅代		
4. 授業形態	講義、グループ討議、発表、模擬授業等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教育概論」「日本語教授法Ⅰ」「日本語教授法Ⅱ」を履修済みであること。留学生は、日本語能力試験N1以上の日本語力を有すること。		
7. 講義概要	<p>これまでの授業で学んできた日本語の教え方や教案の書き方を振り返りながら、それらを用いて模擬授業や教壇実習が行えるように取り組んでいく。まず、オリエンテーションにおいて、本講座の概要・目標・課題等を説明する。本講座では、主に初級教材において、どのような理論に沿って練習方法が導入されているか、概観しながら教材分析を行う。授業見学において実践的な授業計画の立て方や授業活動のあり方について考える。その後、実際に教案を作成するなどの授業準備をし、模擬授業を行う。模擬授業によって教壇実習に見合う授業のシミュレーション活動に取り組み、最終的に教壇実習を目指す。教壇実習では、これまでの一連の授業準備を含め日本語教授における基礎力を養う。教壇実習後は実習ノートを作成し、報告書を作成する。以上の活動を通し、日本語教育の具体的な方法・工夫・問題などに気づき、今後の実践に生かす。また、模擬授業や教壇実習を含め教育実習全体の振り返りを通して、日本語教育に必要な実践力を図っていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーションにおいて示された、教育実習についての取り組みが理解できる。</li> <li>2 授業見学において実践的な授業の立て方が理解できる。</li> <li>3 初級教材の各課の目的を理解し、目的に沿った授業計画や教案が作成できる。</li> <li>4 授業計画や教案に沿って、授業準備を行い、模擬授業が行える。</li> <li>5 模擬授業を踏まえ、教壇実習において実践的な授業活動が行える。</li> <li>6 教育実習全体を振り返り、授業の方法・工夫・問題などに気づくことができる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>ワークシート：授業後に提出する。  教案：模擬授業前後に提出する。  課題レポート：  ・授業見学後、「授業見学報告レポート」を提出する。  ・模擬授業後、「模擬授業の工夫と反省」を提出する。  ・教壇実習後、「教壇実習報告」を教案と共に提出する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】スリーエーネットワーク編著『みんなの日本語 初級Ⅰ』スリーエーネットワーク、2015。  スリーエーネットワーク編著『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説』スリーエーネットワーク、2015。  高見沢孟著『新・はじめての日本語教育2』アスク、2019。  【参考書】大森雅美・鴻野豊子『授業の作り方Q&amp;A78』アルク、2012。  スリーエーネットワーク編著『みんなの日本語 初級Ⅰ 教え方の手引き』スリーエーネットワーク、2017。  文化審議会国語分科会『日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版』文化審議会国語分科会、2019。  横溝紳一郎・坂本正監修著『教案の作り方編』アルク、2016。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準  <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーションにおいて示された、教育実習についての取り組みが理解できたか。</li> <li>2 授業見学において実践的な授業の立て方が理解できたか。</li> <li>3 初級教材の各課の目的を理解し、目的に沿った授業計画や教案が作成できたか。</li> <li>4 業計画や教案に沿って、授業準備を行い、模擬授業が行えたか。</li> <li>5 模擬授業を踏まえ、教壇実習において実践的な授業活動が行えたか。</li> <li>6 教育実習全体を振り返り、授業の方法・工夫・問題などに気づくことができたか。</li> </ol> ○評定の方法：以下の点を総合して評価する。  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への参加態度 総合点の30%</li> <li>2. 模擬授業・教壇実習 総合点の30%</li> <li>3. 提出課題（ワークシート、教案、レポート等） 総合点の40%</li> </ol> </p>		
12. 受講生へのメッセージ	「日本語教授法Ⅰ・Ⅱ」で学んだことを生かし、初級授業をどう教えるか、模擬授業を通し学んでいってほしい。グループ活動が多くなるので、グループのメンバーと協力し、それぞれが真面目に取り組み、授業を組み立てていくこと。		
13. オフィスアワー	授業中に通知する。(事前に要望があれば、随時設定する。)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスを確認し、模擬授業・教壇実習について考える。
		事後学習	『みんなの日本語 初級Ⅰ』の教科書の目次を確認する。

第2回	『みんなの日本語 初級I』文型の分析と授業見学準備	事前学習	『みんなの日本語 初級I』教科書の文型を確認する。授業見学の概要を確認する。
		事後学習	文型や練習方法・構成についてワークシートに記入する。見学する授業の提出項目を確認する。
第3回	授業見学	事前学習	文型・練習を確認し、どう教えるか考える。
		事後学習	教授方法や工夫・問題点などをワークシートに記入する。
第4回	授業見学についての振り返りと意見交換	事前学習	授業見学について発表準備をする。
		事後学習	授業見学レポート提出
第5回	1課から第17課までの模擬授業に向けたグループ活動、教案作成などの模擬授業準備	事前学習	pp.6～151を確認する。グループで担当を決め、教案を作成し、模擬授業の準備を行う。
		事後学習	個人の担当を決め、模擬授業の準備を行う。
第6回	第1課から第17課までの日本語教育に関する模擬授業(1)	事前学習	模擬授業の準備を行う。
		事後学習	反省点を教案に書く。
第7回	模擬授業のビデオを見ながら、フィードバック・ディスカッションを行う	事前学習	「模擬授業の工夫と反省」を用意する。
		事後学習	フィードバックでの意見を参考に改善点を書く。
第8回	第18課から第25課の分析・模擬授業に向けたグループ活動、教案作成などの模擬授業準備	事前学習	pp.152～219を確認する。グループで担当を決め、教案を作成する。
		事後学習	個人の担当を決め、模擬授業の準備を行う。
第9回	第18課から第25課までの日本語教育に関する模擬授業(2)	事前学習	模擬授業の準備を行う。
		事後学習	反省点を教案に書く。
第10回	模擬授業のビデオを見ながら、フィードバック・ディスカッションを行う	事前学習	「模擬授業の工夫と反省」を用意する。
		事後学習	フィードバックでの意見を参考に改善点を書く。
第11回	教壇実習にむけた授業準備	事前学習	教壇実習先について報告する。
		事後学習	担当する課の教案を作成し、教壇実習に備える。
第12回	教壇実習についての報告発表	事前学習	教壇実習についての報告準備を行う。
		事後学習	教案と「教壇実習報告」を準備する。
第13回	教壇実習の報告発表についてフィードバック・ディスカッションを行う	事前学習	教案と「教壇実習報告」を確認する。
		事後学習	フィードバックでの意見を参考に「教壇実習報告」を修正する。
第14回	教壇実習についての総括と「教壇実習報告」作成	事前学習	「教壇実習報告」を完成させる。
		事後学習	教案と「教壇実習報告」を提出する。
第15回	教育実習全体の振り返り・授業評価	事前学習	教育実習全体を振り返り、模擬授業や教壇実習について報告できるようにする。
		事後学習	これまでの授業を振り返り、今後の課題を考える。
<p>教壇実習： 各自、実習先において初級クラスの見学を行い、教壇実習を行う。第12回で教壇実習について報告する。</p>			